

入場
無料

かわごえ エリアリノベーション 講演会2018 in 霞北

テーマ
「バシクキャスティングでまちづくり」

空き店舗等の遊休不動産を資源と捉え、魅力ある場所に変えることで、
まちに変化をもたらし再生していく「エリアリノベーション」。
2018年度は、霞ヶ関北エリアを舞台に、様々な企画を進めていきます。
第一弾となる今回は、神奈川県大磯町で、空き家空き店舗のみならず、
海や山などの自然資源も活用しながら、大磯のプランディングを行い、
新たな事業をプロデュースされている原大祐さんを講師にお迎えします。ぜひご参加ください。

講師(ゲスト)



原 大祐

NPO法人西湘をあそぶ会 代表理事
Co.Lab 代表取締役
湘南定置水産加工 代表取締役
関内イノベーションイニシアティブ 取締役
NPO法人森ノオト 理事
神奈川県総合政策審議会 特別委員(2014年～)
神奈川県住宅供給公社 団地共生プロデューサー(2016年～)

1978年生まれ。青山学院大学経済学経済学科卒。大磯在住。

コンサル会社勤務後、2006年Co.Lab設立、2008年特定非営利活動法人西湘をあそぶ会を設立。大磯で別荘生活のように暮らすがテーマ。地方化する郊外を再生すべく個性ある地域づくりに取り組んでいる。

漁協直営の食堂「めしや大磯港」、神奈川県下最大朝市「大磯市」、コミュニティ農園「大磯農園」、ソーシャル雑居ビル「OISO1668」、空き家リノベーション「茶屋町路地」、二宮団地暮らし方リノベーションなどをプロデュース。

対象

まちを面白くしたいと考えている方、市内での創業を希望される方、エリアリノベーションに関心のある方、商店街関係者の方、不動産オーナーの方、不動産事業者の方など、どなたでもお気軽にご参加ください。

参加方法

申込用紙に必要事項をご記載の上、FAX・郵送または川越市HP申し込みフォームまで。
※定員を超えた場合、立ち見となることがあります。
申込用紙：[市HP](#)または産業振興課窓口
応募締切：7月31日(水)必着
当日参加：[受付](#)にて申込用紙を記入
定員は100名程度

エリアリノベーションとは

エリアリノベーションとは、空き家・空き店舗(遊休不動産)・公共空間を題材にまちを再生する事業をつくることで、エリアの価値を上げて人とお金の循環を生み出すこと。

参考著書
「エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ」
(学芸出版社)

平成30年

8月4日 土

14:00—16:00 (開場13:30)

霞ヶ関北公民館

埼玉県川越市的大場北 1-18-6

東武東上線霞ヶ関駅徒歩10分

定員100名程度(先着)

主催／川越市 企画運営／川越市 株式会社オープンエー

公共交通機関で
お越しください

問い合わせ

川越市産業振興課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 TEL: 049-224-5934(直通) FAX: 049-224-8712